

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年5月12日 (2016.5.12)

【公開番号】特開2014-186055(P2014-186055A)

【公開日】平成26年10月2日 (2014.10.2)

【年通号数】公開・登録公報2014-054

【出願番号】特願2013-58934(P2013-58934)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

G 0 3 G 8/00 (2006.01)

C 0 9 J 4/00 (2006.01)

C 0 9 J 5/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 15/01 J

G 0 3 G 9/08 3 9 1

G 0 3 G 9/08

G 0 3 G 8/00

C 0 9 J 4/00

C 0 9 J 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月17日 (2016.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持体上に、結着樹脂及び着色剤を含有する着色トナーにより画像層を形成する工程、  
前記画像層の上に、結着樹脂及び離型剤を含有する透明トナーにより透明層を形成する  
工程、並びに、

前記透明層の上に剥離可能な圧着層を形成する工程を含有し、

前記透明層が前記画像層よりも大きな硬度を有し、

前記硬度が、原子力間顕微鏡 ( A F M ) 測定に基づく硬度であることを特徴とする

画像形成方法。

【請求項 2】

前記支持体が紙支持体である、請求項 1 に記載の画像形成方法。

【請求項 3】

前記透明トナーが離型剤としてフィッシャートロプッシュワックスを含有する、請求項  
1 又は 2 に記載の画像形成方法。

【請求項 4】

前記圧着層が紫外線硬化型組成物を硬化してなる圧着層である、請求項 1 ～ 3 のいずれ  
か 1 つに記載の画像形成方法。

【請求項 5】

前記圧着層がエチレン性不飽和化合物、光重合開始剤及び充填剤を含む紫外線硬化型組  
成物を硬化してなる圧着層である、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 つに記載の画像形成方法。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 つに記載の画像形成方法により形成された圧着層同士を加圧  
接着する工程を更に含む圧着はがきの製造方法。